

平成 29 年度京都木の家ネットワーク事業計画（案）

— 三方よし（社会、会員、協会）の実現に向けて —

【現状分析】

会員

既存会員の接点の希薄化
(正会員 29 社、賛助会員 4 社)

協会

補助金の利用拡大
(グリーン化事業・SWH事業)
イベント事業の増加

社会

建築業界の縮小

【問題点と課題】

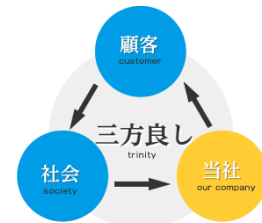
問題点：住宅着工戸数の減少が進展し、住宅市場の縮小が進んでいる。

課題：地域工務店が団結して、地域工務店の活性化を図る。

【テーマと主なポイント】

「新事業体制による三方よしの実現」

— 社会よし、会員よし、協会よしを目指して —



・2ヶ月に1回のイベント開催へ

→ 2ヶ月に1回企画部を開催し、イベントの計画を練る。参加者満足度を向上させる。

・イベント提案・実施は企画発起人-事務局と連携して行う

→ 工務店様のニーズ取り入れたイベント企画・実施する。

【具体的な企画内容】(案)

① 総会について

建築業界に特化した弁護士を講師にお招きする。

② イベントの実施について

定例事業：補助金、JBN事業、HP勉強会

その他企画は定期的に取り入れる（写真の撮り方、不動産関連、外構・エクステリア、ファイナンシャルプラン 等）

③ 視察研修について

（マーケティング、地域貢献、業者統括、営業、設計、施工について学ぶ）

④ 広告、PRについて

協会の目的、方向性を明確にする。HPをリニューアルし、情報発信していく。

【スケジュール】

	12~3月	4月	4~11月
スキーム詳細	→		
会員周知、試験実施		→	
告知、事業開始			→

【収支見通し】

平成 28 年度収支決算(予定)

(収入)3,070,462 円-(支出)1,787,103 円

=1,283,359 円(次期繰越金(予定))

平成 29 年度収支予算(予定)

(収入)3,068,153 円-3,068,153 円=0 円(差引)